

60

# 天覧山・多峰主山



180m・271m

奥武蔵の入口にある親しみやすい山。ハイキング入門に最適なコース

秩父山地が東に向かって高度を下げ、関東平野に消えようとするその末端のわずかな地ぶくれが、飯能の町に間近な天覧山だ。登山口からわずか20分で山頂に立てる手軽さだが展望はすばらしい。東京方面からは飯能河原と併せ、小学校の遠足に格好の場所を提供している。

天覧山だけでは少々もの足りないが、その奥の多峰主山と合わせれば、朝寝坊した一日をゆっくり楽しめるコースとなる。

飯能駅北口から正面の車道を行き、丸広デパートの角を左に曲がる。地方色豊かな商店街からバス通りに出たら左へ。T字路を右折し、観音寺の右手を墓地の塀に沿って進めば天覧山の登山口に着く。

コンクリートの敷かれた広い道は、すぐに急になって中段に着く。右に分かれるのは高麗峠や巾着、田方面への道だ。木の根の露出した道をわずかに登り、2分する道を左にとれば右の岩壁には十六羅漢の石仏群が置かれている。岩壁に付けられた道を行けば、岩登りの練習をしている人も見かけ

ることだろう。頂上はすぐ上だ。

休日には茶店も出る天覧山頂上にはコンクリートの展望台があり、富士山や奥多摩の山々、飯能の町並みなどが見わたせる。山頂を越え北に下ればあずま屋が立ち、右に分かれるのは尾根通しに多峰主山へ至る道だ。やや急な木段道を下り西ノ谷に出る多峰主山へは右へ行く。せせらぎに沿った田舎ムード満点の道だ。

ハンノウザサの繁るこのあたりから、急で滑りやすい見返り坂を登れば平坦になり、右に天覧山からの尾根通しの道を合わせる。すぐ先で左に分かれるのは常盤平や雨乞池を経て頂上に至る女坂。右の男坂は、クサリもある急登だが山頂まではじきだ。

中央に石経供養塔の立つ多峰主山頂上は南にさらに大きな展望が開け、天覧山も左下に見える。山頂を後に左へ下れば、黒田直邦の墓を左に見て雨乞池からの道を含む。平坦な尾根上を進み、絶壁上の御獄八幡神社から左へ巻いて下る。岩壁下の広場からは幅広い石段の道が続くが、四季を

●登山通期

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

●登山シーズン

年間を通じて楽しめるコースだが、展望を期待するなら12〜2月ころがよい。天覧山登山口の大駐車場付近は桜が多数植えられ、4月上旬には花見客でにぎわう。すぐ下の飯能河原は5〜11月ころまで、水遊びやバーベキューの観光客に人気が高い。

●参考コースタイム

飯能駅(30分)登山口(20分)天覧山(40分)多峰主山(30分)本郷(国際興業バス10分)飯能駅

●ワンポイント・アドバイス

◇天覧山は、これまでに3度も山名が変わっている。古くは愛宕神社が祭られていたからと愛宕山。徳川5代將軍綱吉の時代には、その生母桂昌院が綱吉の病氣平癒のお礼に、羅漢の石仏を奉納したから羅漢山。そして明治16年、明治天皇が山麓で行われた軍事演習を観閲のために登ったところから天覧山、というわけなのだ。

◇西ノ谷のササはハンノウザサといわれ、普通のササよりも葉が細くこげ茶色の茎を持ち、葉の裏側はビロードのように滑らかなのが特徴だ。牧野富太郎博士が発見し、昭和16年、県指定の天然記念物となった。

◇見返り坂は、常盤御前が風景の美しさに後ろを振り返りながら登ったといわれている。

◇多峰主山の山頂下には、源義経の伝説が

彩る雑木林の美しい道だ。鳥居をくぐれば小沢沿いの杉木立を行くようになり、もうひとつ鳥居をくぐりT字

路を左折、バス道路を左に行けば本郷バス停はすぐだ。(打田 鏡一)



上/三吉稲荷神社から見上げた天覧山  
右/山頂からは飯能市街が箱庭のようによく見える



らむ常盤平、日照りの時も潤れず雨乞いの場となっていた雨乞池などがある。

◇天覧山から北へあずま屋の右を下る尾根道は、途中右より高麗峠方面からの道を含む。西ノ谷の源頭に行く尾根は穏やかな登り道だのよわりに、行き交う人は少ない。

◇天覧山中段から右へ行けば樹林帯を抜け、人家の裏側から国道に出る。ここは車に注意。左へガードをくぐり右の細道に入れば滑りやすい登りとなる。ゴルフ場のフェンス沿いに左へ行けば高麗峠でコース61と合流する。

◇関係市町村・交通機関問合せ 飯能市役所 0429・73・2111、国際興業バス 0429・73・1161

●2万5000円「飯能」